

2023年11月8日

上場会社名 株式会社 日本トリム  
コード番号 6788 URL <https://www.nihon-trim.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 周夫  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 尾田 虎二郎  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家様向け)

上場取引所 東

TEL 06-6456-4600

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,452	15.1	1,686	38.1	1,764	36.3	1,193	40.8
2023年3月期第2四半期	9,081	8.0	1,220	0.6	1,294	3.3	847	△41.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,386百万円 (32.5%) 2023年3月期第2四半期 1,046百万円 (△32.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	155.76	—
2023年3月期第2四半期	110.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	30,053	22,543	71.0	2,784.40
2023年3月期	29,046	22,128	72.4	2,743.39

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 21,342百万円 2023年3月期 21,028百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	85.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 80円00銭 記念配当 40円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,800	10.3	2,720	14.4	2,850	13.3	1,870	13.6	243.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	8,656,780 株	2023年3月期	8,656,780 株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	991,667 株	2023年3月期	991,667 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	7,665,113 株	2023年3月期2Q	7,665,694 株

(注) 当社は、前第4四半期連結会計期間より「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は10,452百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益は1,686百万円(同38.1%増)、経常利益は1,764百万円(同36.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,193百万円(同40.8%増)となりました。売上高、営業利益、経常利益につきましては、四半期としては過去最高を更新いたしました。

整水器販売事業の職域販売部門では、過去最高の月間受注台数5,064台を記録した本年6月以降も各月前年を上回る受注を獲得し、価格改定も寄与したことで、売上高は前年同期を大幅に上回る結果となりました。他の直接販売部門、間接販売部門並びにグループ事業も引き続き好調を維持しており、2023年5月11日公表の期初計画を上回るペースで順調に進捗しております。

当社グループは、2027年3月期連結売上高320億円を目標とし、その実現並びに中長期的な企業価値向上を目指し、以下の3点を重点的に取り組んでおります。

1. 主事業である整水器販売事業の直接販売部門の効率化を伴う量的拡大
2. 整水器販売事業の卸・OEM部門における海外展開の拡大
3. 世界に先駆けた電解水透析の普及と、保険適用も視野に入れた研究開発等の活動

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### [ウォーターヘルスケア事業]

当第2四半期連結累計期間の整水器販売事業における国内の整水器売上高は4,808百万円(前年同期比19.8%増)となりました。

職域販売部門では、上述のとおり、過去最高の月間受注台数を記録した本年6月以降も各月前年を上回る受注を獲得いたしました。コロナ禍の収束により営業活動が正常化し、上半期のセミナー開催数がコロナ禍前の水準に回復したことに加え、昨年からの取り組んできた営業力強化の効果が表れてきたことが大きな要因です。取付・紹介販売部門、店頭催事販売部門においても展示会等の来場者数がコロナ禍前の水準に戻っており、前年同期を上回る実績となりました。引き続き営業力強化・人員増員に取り組んでまいります。

卸・OEM部門におきましては、各既存OEM先が実施した顧客向けキャンペーン施策が奏功して出荷数が大幅に増加したほか、本年5月から稼働した新規OEM先との取引も順調に立ち上がり、売上高は前年同期比65.9%増となりました。海外向け取引につきましては、従来から引き合いのありましたベトナムをはじめ、インド、タイ、フィリピン、ミャンマーなど、他の東南アジア諸国につきましても、ここもとの円安の影響もあり、下半期に一斉に取引開始となる見込みです。

WEBマーケティング部門では、本年3月に実施した価格改定前の駆け込み需要の反動減がありましたが現在は正常化しており、売上高は前年同期を上回る結果となりました。販売台数を伸ばすべく、引き続き自社メディアの育成に注力するとともに、販売プロセス効率化による購買率向上にも取り組んでまいります。

ストックビジネスである国内カートリッジ販売につきましても、本年4月に実施した価格改定前の駆け込み需要の反動減がありましたが、現在は正常化しており、売上高は2,820百万円(同9.2%増)となりました。

インドネシアでボトルドウォーター事業を展開するPT. SUPER WAHANA TEHNOでは、当第2四半期連結累計期間(2023年1月～6月)におきまして、本年1月に実施した、ペットボトル販売における新規販売店の獲得及び収益性向上を目的とした卸ルート的大幅変更による売上鈍化は完全に落ち着き、出荷数は伸長しております。また、2月～3月に実施した初のテレビCMの効果も寄与した結果、ペットボトル、ガロンボトルともに月間売上高過去最高を記録し、売上高が963百万円(前年同期比15.1%増)となりました。利益面におきましては、第1四半期(1月～3月)ではテレビCMをはじめとする次期以降を見据えたマーケティングへの先行投資を積極的に展開した結果、100百万円の営業損失でしたが、第2四半期(4月～6月)では上述の卸ルートの変更、マーケティング強化施策の効果が表れ、46百万円の営業利益を計上いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間では54百万円の営業損失(前年同期は101百万円の利益)となりました。第1四半期に計上した先行投資による営業損失の解消は、想定以上のスピードで進んでおります。

研究開発におきましては、本年4月より神戸大学と、共同研究講座「エッセンシャルヘルスケア科学共同研究講座」を開設いたしました。この他、理化学研究所、東京大学、東北大学、早稲田大学等と、電解水素水の効果とその機序解明とともに新たな事業シーズ探索を目的とした共同研究を引き続き進めており、現時点で1報論文を投稿中、今期中に4報の論文投稿を予定しております。

以上の結果、ウォーターヘルスケア事業の売上高は9,160百万円（前年同期比15.6%増）、セグメント利益は1,491百万円（同37.8%増）となりました。

#### [医療関連事業]

電解水透析事業では、本年6月の「第68回日本透析医学会学術集会・総会」（会場：神戸国際会議場）にて導入に前向きな関心をいただいた施設との商談を進めております。また、日本腎臓学会や日本腎臓リハビリテーション学会、各地の臨床工学技士会でのセミナー展開など、活動域拡大に取り組むとともに代理店との連携を強化して新規案件開拓に注力しております。一方で透析患者の方々への認知向上を目的とした広報展開も進めてまいります。

電解水透析は、透析患者のWell-beingに大きく寄与できる革命的な技術であり、引き続きエビデンス強化と透析装置の改良に取り組み、次世代のグローバルスタンダード療法としての普及拡大を目指します。

再生医療関連事業では、ステムセル研究所（東証グロース、証券コード：7096、当社持分72.1%）が第1四半期に続き、第2四半期も四半期売上高の過去最高を更新いたしました。同社は2024年3月期第2四半期決算を当社と同じく11月8日に発表しておりますので、詳細につきましては同社決算短信をご参照ください。

中国の病院事業につきましては、引き続き現地パートナーと協力して取り組んでおります。

以上の結果、医療関連事業の売上高は1,292百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は194百万円（同40.9%増）となりました。

当社グループは、“快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する”という企業理念のもと、健康・医療をメインテーマに事業を展開しております。電解水素水、電解水透析、再生医療関連等の事業を通じて人々のWell-beingに貢献することが我々の使命です。「社会はいつでも我々の製品を必要としている」をスローガンに、サステナブルな社会の実現に貢献し、当社グループの持続的な企業価値向上、株主価値向上を果たしてまいります。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は30,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,006百万円増加（前期比3.5%増）いたしました。主な要因は、現金及び預金が473百万円、受取手形及び売掛金が431百万円及び製品が102百万円増加したことによるものであります。

負債は7,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ592百万円増加（同8.6%増）いたしました。主な要因は、前受金が198百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が144百万円及び未払法人税等が85百万円増加したことによるものであります。

純資産は22,543百万円となり、前連結会計年度末に比べ414百万円増加（同1.9%増）いたしました。主な要因は、配当により971百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益1,193百万円の計上、非支配株主持分が100百万円及び為替換算調整勘定が74百万円増加したことによるものであります。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月11日「2023年3月期決算短信」にて公表しております通期業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,795,930	13,269,917
受取手形及び売掛金	5,160,185	5,591,694
有価証券	—	1,006,113
製品	488,000	590,957
原材料及び貯蔵品	1,089,184	1,063,322
その他	387,770	274,085
貸倒引当金	△26,712	△26,979
流動資産合計	19,894,358	21,769,111
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,575,831	2,581,697
その他(純額)	1,800,577	1,917,674
有形固定資産合計	4,376,409	4,499,372
無形固定資産		
のれん	386,029	367,470
その他	274,707	234,748
無形固定資産合計	660,737	602,218
投資その他の資産		
投資有価証券	2,801,696	1,882,415
その他	1,363,477	1,349,638
貸倒引当金	△49,698	△49,113
投資その他の資産合計	4,115,475	3,182,940
固定資産合計	9,152,622	8,284,531
資産合計	29,046,980	30,053,642
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	525,012	520,851
未払法人税等	541,156	626,983
前受金	3,334,295	3,532,683
賞与引当金	178,458	180,895
製品保証引当金	73,000	92,000
その他	1,253,451	1,355,498
流動負債合計	5,905,375	6,308,913
固定負債		
株式報酬引当金	—	43,300
役員退職慰労引当金	280,159	284,099
退職給付に係る負債	360,343	382,193
その他	372,479	491,937
固定負債合計	1,012,982	1,201,530
負債合計	6,918,358	7,510,443

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,597	992,597
資本剰余金	1,823,945	1,823,945
利益剰余金	21,660,473	21,882,624
自己株式	△3,448,032	△3,448,032
株主資本合計	21,028,983	21,251,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,159	18,081
為替換算調整勘定	△89	74,567
退職給付に係る調整累計額	△1,627	△1,059
その他の包括利益累計額合計	△557	91,588
非支配株主持分	1,100,196	1,200,475
純資産合計	22,128,622	22,543,199
負債純資産合計	29,046,980	30,053,642

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	9,081,037	10,452,775
売上原価	2,787,798	3,082,010
売上総利益	6,293,238	7,370,764
販売費及び一般管理費	5,072,426	5,684,573
営業利益	1,220,812	1,686,191
営業外収益		
受取利息及び配当金	11,192	13,591
持分法による投資利益	3,439	8,514
不動産賃貸料	41,230	41,337
為替差益	4,570	2,865
保険解約返戻金	—	5,305
その他	22,975	27,621
営業外収益合計	83,407	99,236
営業外費用		
支払利息	548	1,640
貸与資産減価償却費	7,526	7,217
貸倒引当金繰入額	—	300
保険解約損	—	4,758
その他	1,163	6,824
営業外費用合計	9,237	20,741
経常利益	1,294,983	1,764,686
特別利益		
固定資産売却益	628	2,012
投資有価証券売却益	—	22,327
新株予約権戻入益	28,720	—
事務所移転費用戻入益	—	1,829
特別利益合計	29,348	26,168
税金等調整前四半期純利益	1,324,331	1,790,855
法人税、住民税及び事業税	312,530	587,988
法人税等調整額	85,535	△25,201
法人税等合計	398,065	562,787
四半期純利益	926,266	1,228,068
非支配株主に帰属する四半期純利益	78,453	34,155
親会社株主に帰属する四半期純利益	847,812	1,193,912



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	926,266	1,228,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	22,638
為替換算調整勘定	118,228	134,495
退職給付に係る調整額	665	406
持分法適用会社に対する持分相当額	859	729
その他の包括利益合計	119,901	158,270
四半期包括利益	1,046,168	1,386,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	921,435	1,286,059
非支配株主に係る四半期包括利益	124,732	100,279

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,324,331	1,790,855
減価償却費	192,021	208,740
のれん償却額	18,559	18,559
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,653	△792
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,178	2,436
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	—	43,300
受取利息及び受取配当金	△11,192	△13,591
支払利息	548	1,640
持分法による投資損益(△は益)	△3,439	△8,514
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△22,327
助成金収入	—	△1,049
新株予約権戻入益	△28,720	—
売上債権の増減額(△は増加)	△545,850	△398,201
棚卸資産の増減額(△は増加)	△12,500	△60,461
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,730	△22,973
前受金の増減額(△は減少)	185,722	198,362
未払消費税等の増減額(△は減少)	97,180	△63,182
その他	67,613	299,013
小計	1,274,375	1,971,814
利息及び配当金の受取額	22,333	18,369
助成金の受取額	—	1,049
利息の支払額	△548	△1,640
法人税等の支払額	△118,651	△495,857
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,177,509	1,493,735
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	500,000	—
投資有価証券の取得による支出	△16	△99,900
投資有価証券の売却による収入	—	72,327
有形固定資産の取得による支出	△128,496	△227,074
無形固定資産の取得による支出	△50,635	△4,876
関係会社株式の取得による支出	△100,000	—
保険積立金の解約による収入	—	63,482
その他	10,666	46,690
投資活動によるキャッシュ・フロー	231,516	△149,350
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△7,350	—
自己株式の取得による支出	△5,436	—
配当金の支払額	△459,512	△970,623
その他	△14,095	△13,927
財務活動によるキャッシュ・フロー	△486,395	△984,550
現金及び現金同等物に係る換算差額	91,268	114,152
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,013,899	473,986
現金及び現金同等物の期首残高	11,878,323	12,795,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,892,223	13,269,917

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ウォーターヘルスケア事業」、「医療関連事業」の2つの事業セグメントを報告セグメントとしております。

「ウォーターヘルスケア事業」は、整水器販売事業及びそれに付随する業務を行っております。「医療関連事業」は、医療・予防医療分野や再生医療分野における事業等を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ウォーター ヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,160,245	1,292,529	10,452,775	—	10,452,775
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,160,245	1,292,529	10,452,775	—	10,452,775
セグメント利益	1,491,902	194,288	1,686,191	—	1,686,191

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。